

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業一覧（令和3年度）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止や、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を行うため、令和2年度に創設された交付金です。本市では、令和3年度に国から332,783千円の交付金を受け入れ、以下の事業に活用いたしました。

No	事業名	事業実績・効果	交付金充当額 (千円)
1	行政IT化事業	コロナ感染拡大により変化するリモートワーク等の新しい働き方に対応するため、庶務事務システムのバージョンアップを行うとともに、AI-OCR・RPA等の行政事務の電子処理化を促進した。	25,622
2	小中学校教育支援事業	コロナ禍において、学びの機会を保障し、よりきめ細やかな学習指導を行うとともに、児童生徒の心と体のケアを行うため、学び支援員及びスクールカウンセラーを配置した。	66,573
3	小中学校IT化支援事業	コロナ感染拡大により変化する学びのデジタル化に対応するため、小中学校のネットワーク環境を更新するとともに、各教室にプロジェクターを設置した。	133,998
4	高齢者インフルエンザ予防接種費補助事業	新型コロナとインフルエンザの同時流行による医療提供体制の崩壊を防ぐため、高齢者のインフルエンザワクチン接種費用の一部を補助し、積極的な接種を促した。	37,251
5	高齢者・障害者移動支援事業	コロナ感染のリスクを軽減するため、公共交通機関の利用を避けて外出ができるよう、高齢者や障害者に対してタクシー券やガソリン券を交付した。	15,897
6	公用公共施設感染防止対策事業	住民が安心して公用及び公共施設を利用できるようにするため、施設の消毒作業を行い、新型コロナの感染リスクを軽減した。	26,992
7	あいスタ認証取得支援事業	市内飲食店の感染症対策強化のため、飲食店の感染症対策に係る県独自の第三者認証制度「ニューあいスタ認証制度」の認証を受けた事業者に対し、星の数に応じて支援金を交付した。 【支援金】 ・認証のみ、星1つ 32件×5万円 ・星2つ 56件×7万円 ・星3つ 147件×10万円	26,450
合計			332,783